

## 事前評価個表

整理番号	16
------	----

地域(地区)名	<small>たかはしがわ かりゆう</small> 高梁川下流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岡山県	対象市町村	<small>にいみし</small> 新見市ほか9市町
事業実施期間	H28 ~ H32 (5年間)	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、岡山県の西部に位置し、北部は中国山地を形成する1,000m級前後の山が並び、中南部は500m~600m級の山々が連なった吉備高原山地から瀬戸内沿岸の平野部に至るまでのなだらかな地形が続いている。</p> <p>本地区の森林面積は164千ha(森林率67%)、対象民有林は153千ha(森林全体の94%)、うち人工林は49千ha(人工林率32%)と県平均の人工林率39%より低い、Ⅲ~ⅩⅡ齢級の林分が92%を占めており、伐期の長期化に対応して、高齢級森林の適切な間伐の実施と間伐材の搬出利用の促進が大きな課題となっている。</p> <p>また、奥地林等において、間伐が遅れているにも関わらず放置されたままの森林が多く見られ、未整備森林の解消が必要となっている。</p> <p>南部は気象・土壌条件から天然アカマツ林が大部分を占めており、松くい虫被害量は減少してきているものの依然高い水準にあることから、伐倒駆除や樹種転換等による総合的な対策が求められている。</p> <p>新見市ほか9市町全てで策定している市町村森林整備計画と整合性を図り、森林の有する多面的機能を総合的にかつ高度に発揮させるため、本事業により路網の整備とともに適切な森林施業を実施することで、公益的機能の維持増進と木材供給量の増大を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備 : 6,090ha 人工造林、雪起こし、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費 : 2,582,613千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.64 (総便益(B)=21,290,049千円、総費用(C)=5,846,736千円)</p>
評価結果	<p>必要性 : 保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性 : 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性 : 健全な森林づくり等によって水源涵養<sup>かん</sup>、国土保全等の機能の確保はもとより、将来の木材の安定的生産にとって有効である。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岡山県

地域(地区)名：たかはしがわかりゆう高梁川下流

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <small>かん</small> 便益	洪水防止便益	3,757,272	
	流域貯水便益	1,316,650	
	水質浄化便益	3,104,085	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,685,719	
	土砂崩壊防止便益	4,545	
環境保全便益	炭素固定便益	3,135,429	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,286,349	
総 便 益 (B)		21,290,049	
総 費 用 (C)		5,846,736	
費用便益比	$B \div C = \frac{21,290,049}{5,846,736} = 3.64$		

# 森林環境保全整備事業 高梁川下流地域(岡山県)

